

「地区別組合代表者懇談会」を 県内7会場で開催



【秋田会場(8月7日)における懇談会の様子】

本会では毎年度、組合代表者の皆様より業界(組合)の現況や課題、中小企業・小規模事業者施策に係る意見・要望を広くお伺いし、組合の課題解決はもとより組合同士の連携や地域経済の活性化に結びつけることを目的に「地区別組合代表者懇談会」を開催しています。

今年度は、7月10日(金)の湯沢会場を皮切りに8月7日(金)の秋田会場まで、県内7カ所において開催しました。

懇談会は二部構成で開催し、第一部では平成27年10月から全国一斉に導入され平成28年1月より運用開始となるマイナンバー制度の概要と事業者における対応に関する情報提供研修を行いました。

引き続き第二部の懇談では、秋田県の各地域振興局ならびに各市より地方創生関連施策及び中小企業支援施策に係る情報提供が行われ、併せて本会より事業活動の紹介や昨年度の同懇談会で出された意見・要望に対する経過報告等を行った後、意見交換では組合代表者の皆様から様々な意見・要望が出されましたので、その概要についてご紹介します。

なお、このたび懇談会で出された要望等については、「佐竹秋田県知事との懇談会」や国・市等への要望活動につなげ、今後の組合及び中小企業・小規模事業者に対する支援や地域経済の活性化に反映させていくこととしています。



【挨拶をする本会藤澤正義会長(秋田会場)】

国に対する要望等

【電気工事業】

- ①地方はアベノミクスの成果は見られず、むしろ以前より景気は悪化している。民間の活力がない中で小口の仕事を含め仕事の確保に日々努力しており、今まで以上の景気対策をお願いしたい。
- ②官公需適格組合の申請を検討しているが、人員要件が厳しく雇用の面で支障が出ることが想定され申請までに至らない状況となっていることから、申請要件を緩和してほしい。

【印刷業】

マイナンバー制度について、マイナンバーを含む個人情報漏えいした際の対処方法について、一層告知してもらいたい。

【介護サービス業】

団塊世代を含め介護される人が増える中で、ヘルパー(介護員)が圧倒的に不足している。講習を受講する費用の助成はあるが、資格取得後に実際の介護現場で従事しているヘルパーが少ないため、ヘルパー不足に対する対策を講じてほしい。

また、国は在宅介護を推奨しているが、雪国では除雪が大きな問題であり、現在の介護保険制度では除雪が対象になっておらず在宅介護の大きな妨げとなっているため、対象メニューに加えてほしい。

【商店街】

平成25年度・26年度に国の「地域商店街活性化事業」を活用し新規イベントを開催することが出来、感謝している。同事業のような補助率10 / 10の補助金は商店街にとって大変有り難く、同様の補助金を再創設してほしい。

秋田県に対する要望等

【繊維製品製造業】

本県にとって少子高齢化は最大の課題であり、補助金・助成金については少子高齢化対策を含む重点分野に手厚くする等、根本的に予算配分を見直してほしい。

【電気工事業】

- ①地方創生については、抽象的な取組とならないよう、数ある施策の中から優先順位を付けて実施してほしい。
- ②当業界の一番の課題は後継者問題であり、事業承継を含めた各種支援をお願いしたい。
- ③県道や市道の防犯灯についてLED化されていない街灯があり、市に対しては要望しているが、県道の防犯灯のLED化についても検討してほしい。

【印刷業】

- ①県には最低制限価格制度について理解して頂いており大変感謝している。今後も引き続き支援をお願いしたい。
- ②行政において紙印刷物(用紙)のペーパーレスが進んでいるが、中小企業振興条例による地元企業育成の観点からも、紙印刷物(用紙)の地元企業に対する発注を検討してほしい。

【窯業・土石製品製造業】

秋田県の公共工事では能代山本地区限定でフライアッシュ混合生コンクリートを標準仕様として頂いており感謝している。今後は、全県にフライアッシュ混合生コンクリートを普及できるよう、県のバックアップをお願いしたい。

【建設業(鳶)】

当業界は、毎年4～6月の仕事量が少ない状況となっている。このため、通年を通じて満遍なく仕事ができるよう、工事の発注時期の平準化をお願いしたい。

【卸売業】

昨年より、組合において県内の大学生約30名と交流し、様々な刺激を受けている。県内の社会人口減少に少しでも貢献したいと考えているが、行政としても県内の優秀な人材の確保について一層取り組んでほしい。

【小売業】

地方創生に係る人口減少の問題については、減ることを前提にするのではなく、人口を食い止め増やすための施策を実施してほしい。

【サービス業(葬祭)】

当社では、ジュニアインターンシップで女子高校生を3日間受入した結果、初の新卒採用につながった。中小零細企業に対し、若年者の地元採用に関する労務管理面での支援をお願いしたい。

【ポイントカード】

県の地域振興局より地方創生に関するワークショップの取組内容について説明があったが、ワークショップにおいて出された意見を踏まえ、策定した戦略が一過性とならないよう、長い目で育ててほしい。

【商店街】

- ①先日、組合員を対象に事業承継に関するセミナーを開催し、各商店主にとって非常に参考となる内容であった。事業承継については生前対策を含めて今後も細やかな対応が必要となるため、支援をお願いしたい。
- ②アーケードについて築40年以上が経過しているため、当初は改修を検討していたが、維持管理の問題があり撤去することとなった。アーケード撤去後の歩道の融雪化等に向けた取組について支援・協力をお願いしたい。



【湯沢会場の様子(7月10日)】



【挨拶をする伊藤邦夫専務理事(湯沢会場)】



【鹿角会場の様子(7月14日)】



【大館会場の様子(7月16日)】

市町村に対する要望等

【サービス業(自動車電装品)】

車輛の整備技術が高度化・電子化する中で、我々の業界も認証工場として仕事していかなければ生き残れない状況となっている。認証工場については2・3級の電装整備士が必要となるため、電装整備士の講習費用について支援してほしい。

【共同店舗】

「秋田市プレミアム商品券」について、冬期商品券の販売の際は、当組合でも中小店専用の商品券を使用できるよう、基準を見直してほしい。

【ポイントカード】

当組合のポイントカードは、数年前にリニューアルし、より消費者に根付くカードに変更しているが、高齢者のカード利用が多いため、市の施設でも利用できるよう、対応を検討してほしい。

【商店街】

- ①当組合ではアーケードの老朽化が激しく、撤去を含め検討している。中心商店街が無くなることのないよう、市からも各種支援をお願いしたい。
- ②当商店街を含む近隣4商店街が共同で、賑わい創出に向けた研究を行っている。賑わい創出のためには、組合青年部が活発に機能することが重要であるとともに、市のバックアップも必要となるため、引き続き支援をお願いしたい。
- ③市はコンパクトシティを推進しようとしているが、どのような具体的戦略を掲げて推進しているのか、明確に示してほしい。



【横手会場の様子(7月22日)】



【能代会場の様子(7月28日)】

中央会に対する要望等

【食料品製造業】

西明寺栗を県の特産品として大々的に販売する目的で、今年3月に組合を設立した。今後は、西明寺栗のブランド化を図るため「地域団体商標」を取得したいと考えており、中央会の支援をお願いしたい。

【窯業・土石製品製造業】

今年度の中小企業団体全国大会に対する官公需関連の要望については、組合として考えていた要望が十分に網羅されており、今後も引き続き要望してほしい。

【小売業】

中央会には助成事業等で手厚い支援を頂き、大変感謝している。今後は、各組合員とも地域住民に真に喜ばれる店舗にしたいと考えており、やきそばを何度も食べてもらうための雰囲気づくり・マナーに関する研修や技術研修の実施にあたり、引き続き支援をお願いしたい。

【卸売業】

昨年度の「FOODEX JAPAN」への出店に際し、中央会には多大な支援を頂き、大変感謝している。今後も引き続き中央会が展示会等の出店に関する企画を行ってほしい。

【サービス業】

今年度、中央会の「組合連携コーディネート事業」を活用し、循環型社会で地域活性化を図るための研究することとしており、実現に向けバックアップをお願いしたい。

【運輸業】

今年度の中小企業団体全国大会に対する「高速道路料金制度の見直し」に関する要望については、大変感謝しており、是非実現してほしい。

【商店街】

- ①当商店街ではアーケードの改修を検討しているが、改修については慎重に対応していくこととしており、今年5月以降は具体的な検討が進んでいない状況となっている。当商店街のあるべき姿について検討が必要だが、何か良い方法があれば支援してほしい。
- ②行政による駅前広場整備事業の委員会が今年度立ち上がり、平成29年度の完成を目指し平成11年からの整備計画案が実現する糸口が見出せそうな状況となっているが、当組合だけでは立案・実行することが出来ないため、方向付けをはじめとする中央会の支援をお願いしたい。



【大仙会場の様子(7月30日)】